

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ひとりひとりの希望や要望を聞き実施していくことが、不十分である。	ひとりひとりが本当に望んでいることや行いたいことなどをつかみ、実施していくことで、その人らしい暮らしを実現していく。	ひとりひとりのいままでの生活を掘り下げ、理解を深めるとともに、ゆっくりと寄り添う時間を持つことで、ひとりひとりの意向や希望がつかめるようになる。	12ヶ月
2	2	家族や地域の団体など ^o に対し、情報発信が不足している。	ホーム内部の様子や取り組み状況を外部に発信し相互理解を深める。	『ホーム便り』を定期的に発行し、家族をはじめ、関係機関へ送付する。地域の方の介護相談などの窓口としての利用も案内していく。	12ヶ月
3	3	地域社会の中でのつながりが限られ、広がりがない。	地域社会の一員として、周囲の住民や老人会、子ども会などとのつながりをつくり、地域の中で受け入れられるようにしていく。	ホームで行う行事の参加案内を出したり、地域行事への参加を行うなどの交流機会をつくり活用していく。色々な形での交流の持ち方を検討し、色々な団体との新しいつながりを作っていく。	12ヶ月
4	4	職員に対する研修の機会が少ない。	介護業務に従事していく上で必要な知識と技術について、多様な研修機会を利用し、しっかりとスキルを身につけ、質の高いケアが行えるスタッフを育成する。	外部からの研修案内を利用し、スタッフに適したテーマの研修機会を確保する。フロア会議の機会や学習資料の読み合わせなどを通して、短時間での学習の場を設置し情報の共有を図る。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。